



不知火っ子だより

第6号

平成28年9月26日 文責 校長 吉永博美

授業参観・祖父母学級に多数のご参加ありがとうございました。

23日（金）の授業参観、祖父母学級には、多数ご参加いただきありがとうございました。授業参観には、幼稚園・保育園との連携を強化したいと考え、保育園の保護者さんにもご案内をしましたので、何人か参加していただいたようです。また、1、2年生は祖父母学級で、祖父母のみなさんと楽しいひとときを過ごさせていただきました。学年PTA活動を併せて実施されたところもありました。ご協力ありがとうございました。

参観していただきました道徳の授業は子どもたちの道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などを養うことを目標にし、週に1時間程度実施しています。「ひとみキラキラ 心ぴかぴか」の不知火っ子を育むために、とても重要な時間となっています。

今回は、**道徳教育用郷土資料「熊本的心」**を使った授業を行いました。「熊本的心」は、郷土の先人の伝記や逸話などから人間の生き方、考え方を共感を持って学び取ることができ、また同時に子どもたちの郷土に対する愛着を深めることができる道徳用副読本です。昭和63年の初版以来、改訂を重ねながら、各学校で子どもの実態に応じて活用されています。保護者の皆さんの中にも、この資料で学習した方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回、各学年で使用した資料は次のとおりです。特に5年生は、本町出身の世界的な画家「マナブ間部」氏を取り上げています。ご家庭でも話題していただけるとありがたいです。

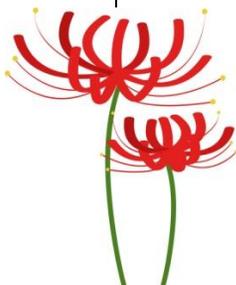
- 1年・・・「やまのせいくらべ」 主題名：友だちと仲良く 熊本平野一带に語り継がれている伝説
- 2年・・・「ぬぎすてたぞうり」 主題名：整理整頓 玉名生まれ、江戸後期の僧、豪潮の逸話
- 3年・・・「勝清と彦一とんち話」 主題名：ふるさと 相良村出身の作家 小山勝清の伝記
- 4年・・・「げたをほった子」 主題名：個性の尊重 日奈久出身の彫刻家、田島亀彦の伝記
- 5年・・・「ふたつの祖国から世界へ」 主題名：国際親善に努める 不知火町出身の画家、「ブラジルのピカソ」と呼ばれたマナブ間部の伝記
- 6年・・・「金栗たび」 主題名：創意工夫 玉名出身の「マラソンの父」と呼ばれる金栗四三の伝記

学校評価委員会を開催しました。

授業参観に併せて、学校評価委員会を開催しました。この委員会は、学校の教育目標が達成されるように、教育活動や学校運営について、委員の皆様からご意見等をいただき改善に生かしていくものです。

今年度の、委員には、学校評議員さん 3名
PTA役員さん 2名 地域活用コーディネーターさん 2名 の方々にお願いしています。

様々な、ご意見を参考にしながらよりよい教育活動を進めていきたいと思ひます。



9月27(火)・28日(水) 修学旅行に行ってきます！



原爆の被災地である長崎を訪問し、平和の大切さ、命の尊さについて学びを深めることを第一の目的としています。1日目は、平和公園及び周辺のフィールドワーク、原爆資料館。2日目は長崎バイオパーク、佐賀県立宇宙科学館見学となっています。自分の目で見て、耳で聞いて、頭で考え、心で感じてほしいと思ひます。もちろん楽しい思い出もたくさんつくってほしいと思ひます。